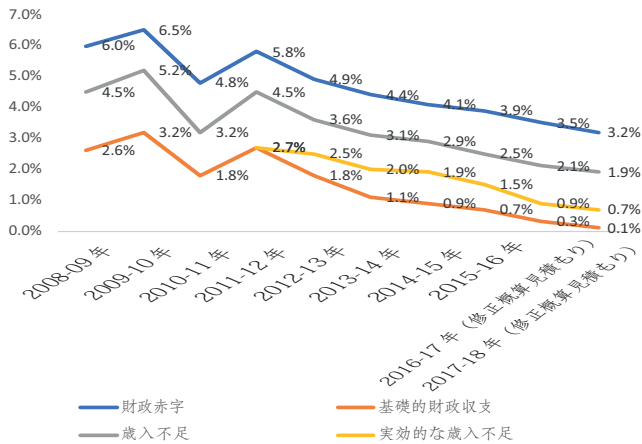
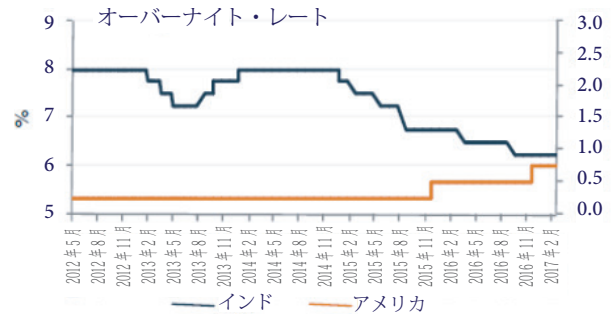


インドの財政赤字の動向(対GDP比)



出典:インドの予算

インドのベンチマーク・レポ金利対米国のオーバーナイト・レート



出典:RBI, Bloomberg, UTI MF

注:中国の正月や待望のインド予算などにより、この報告書では1月と2月の重要な最新情報を組み合わせています。

1. インド政府は 2017 年 - 2018 年の予算を最終決定し、低財政赤字路線に取り組む

財務大臣の Arun Jaitley 氏は 2017 年 2 月 1 日に、会計年度 2018 年とそれ以降 2019 年と 2020 年に向けた財政再建のために、財政赤字を GDP の 3.2% を目標としたインドの予算を発表した。歳出は地方発展、農業、教育と交通機関など、主な社会資本分野に集中している。住宅建設、インフラ支出の推進と雇用創出並びに富の部分的分配もまた、この課題における成長を支える項目として言及された。資本支出のシェアは 24.5% 増加に設定されている。政府の総借入は依然安定しており、低所得者層の所得税はわずかに低下したと発表された。

2. インフラ推進は、ほぼ 600 億米ドルが支出に割り当てられ増幅

インフラ向け支出は予算の主要なテーマであり、交通機関の更新に焦点が当てられている。ムーディーズは高い公共投資をポジティブな信用力として評価した。600 億米ドル (約 3 兆 9600 億ルピー) のうち約 360 億米ドルは、道路、鉄道および港湾に割り当てられる予定。鉄道予算は前年比 8.3% 増加し、高速道路建設は 27km/日から 41km/日にペースアップされる計画。

3. GST 協議会は確実に GST 補償法案を通過させ、7 月 1 日導入へ一歩近づく

GST 協議会(物品・サービス税)は 2 月に会合を開き、7 月 1 日の導入期限を固守するため、必要な法律/法令を通過させることを確認した。これは、4 月 1 日の最初の導入期限から延期されたものであるが、より現実的なタイムラインとして考えられている。GTS を可能とする 3 法案、中心的 GTS、統合 GTS および州への報酬は、3 月に議会での承認を得るために現在審議されている。

4. 会計年度 2017 年第 3 四半期の GDP 成長率は健全な 7.0%、GVA(産業ごとの付加価値の合計)は 6.6% を記録

インドは、組織化された分野を取り込んだ農業と工業における強力なトレンドを反映し、紙幣廃止の影響にもかかわらず、健全な成長を示す数字を記録した。サービス部門は停滞を示した。前の四半期の記録 7.4% よりも低いものの、7.0% GDP 成長の記録は 6.0% 成長の市場予測を上回った。

5. インド準備銀行 (RBI) は金利引き下げサイクルの中で一息、コア・インフレは定着したまま

2月の金融政策レビューにおいて、RBI はベンチマーク・レポ金利を 6.25% に据え置き、インフレへの上振れリスクを理由に(緩和から)中立的な政策スタンスを採用した。今年のモンスーン国会と政策金利引き下げの銀行貸出金利引き下げへの伝わり方次第では、更なる金利引き下げもある。RBI は中期インフレ目標 4% を堅持し、会計年度 2017 年の成長予測をわずかに下げたものの楽観的な 2018 年見通しを維持した。

6. インドの市場規制当局 SEBI は、アジアで最も古い証券市場の IPO を承認

BSE(ボンベイ証券取引所)は、IPO の承認を得た。既存の株主はその新規株式公開により、販売ルートを通じて、約 3000 万株の売却を計画している。ほぼ 262 の株主は、4.7% の持ち分を完全に手放す SGX(シンガポール取引所)を含み、株式を売却することで合意している。売却の努力は、多くの一般投資家の参加を促すので、インドの証券取引ビジネスにとっては有益である。

7. 紙幣廃止にもかかわらず税収データは肯定的、GDP 報告を一層明確に示す

インド政府によって徴収される直接税と間接税双方は、良好な成長を示し、紙幣廃止による最悪の時期を脱したことを示唆している。間接税の徴収は 4 月から 12 月までに 25% 増加し、直接税の徴収は 12% 以上増加した。

この報告書は株式やユニットのオファーの性質を持つものではなく、意見や広告の提案や提示でもありません。これは何らかの証券の利率や価格の起り得る将来の動きに関する何らかの予測や表示の性質を持つものではありません。上記の報告書の内容は、特定の目的、経済状態、そしてこの報告書を受け取る特定の人の特定のニーズを顧みず、情報提供のみを目的としています。何らかの証券や有価証券への投資と本文書に言及されている投資戦略の妥当性に関しては、アドバイスを求めてください。